


こもろ
市議会だより
臨時号

No. **164**
平成28.3.9



本年の議会と語る会は、
 5月開催予定です。



子育て支援をテーマに6会場で開催

平成27年度
「議会と語る会」
特集

開催日と参加状況

開催日	会場	参加者
11月2日(月) 19時00分～21時00分	市役所4階	40人
11月4日(水) 19時00分～21時00分	諸公民館	53人
11月5日(木) 19時00分～21時00分	柏木上生活改善センター	23人
11月6日(金) 19時00分～21時00分	JA佐久浅間 三岡支所	7人
11月10日(火) 19時00分～21時00分	御影コミュニティーセンター	29人
11月11日(水) 19時00分～21時00分	久保公民館	35人
合計		187人

語る会で出た課題について

数多くのご意見をいただきましたが、紙面の都合により抜粋して掲載させていただきます。全容は、ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

結婚・出産

●課題 子育て以前に婚活支援がない。

◆議会の対応 婚活の場づくりについて、行政は団体の取り組みを側面から支援するとしています。行政が積極的に関わるよう要請を行っていきます。

●課題 安心して子どもを産める病院の存続。第2子、第3子への経済的負担の軽減。

◆議会の対応 行政には、出産環境に対する不安の声が届いていないとのことなので、議会として、出産後のケア体制、出産育児一時金(42万円)以上の負担の実態、里帰り出産の実態

等、よりきめ細やかな実情を調査把握し、安心して子どもを産み育てられる環境を整えるよう提言してまいります。また、第2子以降の子育てに対する経済的支援の内容を研究してまいります。

子育て支援(幼児期)

●課題 休日・夜間保育がない。保育時間の延長。

◆議会の対応 休日・夜間保育の実施にあたっては、保育士の確保と予算が必要になりますので、実際にどのくらいの方が利用するのか把握するよう要請します。

●課題 病児・病後児保育の整備。

◆議会の対応

病児・病後児保育については佐久市に委託して実施していますが、周知がされていないため、PRを行うよう要請しました。小諸厚生総合病院での実施については、今後、病院と協議していくとのことですので、議会としても実現するよう要請します。

●課題 土日、夜勤等、両親の共働き家庭の児童

◆議会の対応 必要。

ファミリーサポート事業は、「小諸市子ども・子育て支援事業計画」でも計画しているため、実施に向けて努力していくとしています。議会でも注視してまいります。



●課題 安心して遊ばせる地域環境がない。

◆議会の対応

行政は、小諸市民一人当たりの都市公園面積が16平方メートルあり、国の基準である10平方メートルを上回っているため、公園整備は充足しているとしていきます。

議会としては、市民の皆様が、地域住民の交流や子育ての場としてお近くにある公園や公民館等を積極的に活用できるように方策等を研究してまいります。



子育て支援(学童期)

●課題 学区による生徒数の格差の解消。

◆議会の対応

教育委員会で、小中学校の統合、通学距離、児童数減少、自校給食等については、平成28年度を目的に進めている「学校改築計画」を策定する中で検討していますので、議会としても計画の策定に注視してまいります。

●課題 安全のための道路拡幅等の通学路整備が進んでいない。

◆議会の対応

通学路の整備については、行政が毎年、各学校区単位で学校、保護者、関係機関等と一緒に合同点検を行い、危険箇所の認識の共有を図っています。その後、警察等からの指導を踏まえ、要望箇所の対応について、市から学校に報告を行っているのが現状です。議会としても安全な通学路整備に更に尽力できるように、きめ細やかな対応をしてまいります。

●課題 部活動の際、土日のバスが無く大変不便。

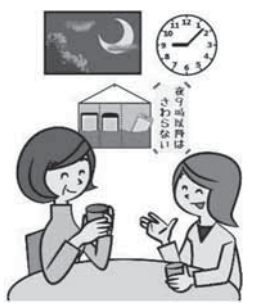
◆議会の対応

行政は、土・日の運行は、利用者が多く見込まれることが確認できれば検討するとしています。議会としても市財政を考慮しながら検討します。

●課題 携帯・スマホを小中学生が21時以降使用できないようにしたい。ネットトラブルがある。

◆議会の対応

行政は、平成28年度に教育委員会と市P連が協力し、子どもと保護者を対象に市内統一アンケートを実施し、子ども、保護者、関係団体等と協議してまいります。議会としても大きな課題と捉え研究してまいります。



働く場と環境整備

●課題 子育て世代が働きやすい職場環境。

◆議会の対応

行政は、企業が子育ての方を雇用できるような企業助成を検討しています。議会も行政と一緒に研究していきます。

●課題 若者の働く場が少ない。

◆議会の対応

行政は、小諸市総合戦略に基づき、進学等による転出者が小諸に戻ってこられるように企業誘致を進めています。議会でも雇用増進に向け、研究検討していきます。

経済的支援

●課題 医療費の窓口支払いが負担となる。

◆議会の対応

子育て支援策のひとつとして「窓口無料化」は有力と考えますが、実施に伴う交付金減額のペナ

ルティ等がありますので、国に医療費助成制度の統一創設やペナルティをなくすことについて意見書を提出しました。

●課題 保育料無料化。

◆議会の対応

平成26年度決算で保育料は1億4300万円となっており、これを全額公費負担とするためには、財源確保のために、他の事業の縮小や廃止も検討する必要があります。議会としても様々な検討を重ねてまいります。

空き家対策

●課題 危険な空き家は、放置せずにすぐに対応すべき。

◆議会の対応

使える空き家については、商工観光課が対応しており、利活用を促進するための「空き家バンク」制度がありますので、利活用を希望する方は登録いただきますようご協力をお願いします。

議会と語る会

●課題 もっと子育てをされている人たちの参加を増やせないか。また、「議会と語る会」の後の報告がない。市民が議員に不信感を持つ原因ではないか。

◆議会の対応

開催時間や場所等について見直しを行い、参加しやすい会にしていきたいと思います。開催後の報告については、今回は議会だより臨時号を作成し、各戸配布とさせていただきます。



議会や市政のことを議員と話ませんか

議会では、「議会と語る会」のみでは広聴の機会が不足していると考えています。

「議会版 こもろ出前講座」がありますので、ご利用ください。

議会や市政のこと、今後の課題など、ご希望のテーマに合わせて市議会議員が伺い、報告や意見交換をします。希望される方はお問い合わせください。

◆お申し込みいただける方

市内在住又は、通勤・通学している5人以上の方で構成される団体及び個人

◆講座開催日時・会場

- ・議員の派遣調整がつく日 午前9時～午後9時
- ・1回につき、2時間程度とさせていただきます。
- ・会場は市内に限ります。申込者で会場の確保をお願いします。(会場使用料等は申込者負担となります。)

▼申し込み問い合わせ先

議会事務局
0267-22-1700(内線2402)

アンケートによる議会と語る会の分析

回収率は約2倍に

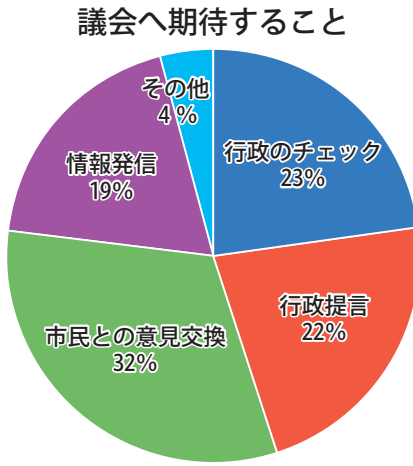
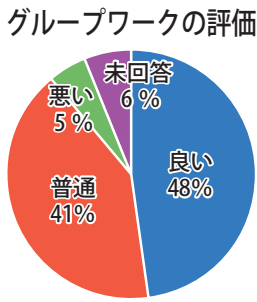
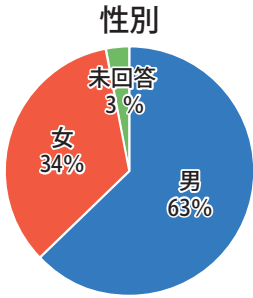
語る会の開催方式をグループワークによる全員参加型に変えたことにより、アンケートの回収率が約2倍となり、意見を言いやすい環境が整い、グループワークへの評価が高くなっています。

しかし、今までどおり全体での意見交換を望む方もおり、次回に向けて会議の進め方を再考していきたいと考えております。

テーマは子育て支援

テーマを子育て支援としたことで、各種団体役員の方から子育て世代への声掛けをしていただき、例年より多くの子育て中のお母さんに参加いただきました。次回、更に多くの皆様の参加をお願いします。

参加者187名中151名(80・75%)の方にアンケートにご協力いただきました。



28年度開催に向けて

議会へ期待することについては、左下のグラフのような選択肢を置きましたが、特に「市民との意見交換」について期待されていることがわかりました。

アンケートの中には、語る会での意見の具現化を求める声もあり、参加したことに意味がある会であつてほしいとの意見がありました。

議会では、所管常任委員会において、出された意見全てを確認し、議会としての対応を検討してまいります。

また、28年度開催については、5月を予定し、29年度予算に反映するよう取り組んでまいります。

まち再生特別委員会の提言内容

まち再生特別委員会では、12月議会において、「コンパクトシティ構想による中心市街地の活性化に向けた提言書」を議長に提出し、議会として、第5次基本構想に反映されるよう申し添え、市長に提出しました。

提言書提出の経緯

小諸市がコンパクトシティ構想の実現に向け、これまで中心市街地に行ってきた多額な投資を活かし、新たな公共交通システムにより、中心市街地への人の流れをつくり、にぎわいを取り戻すためのまちづくりを検討する必要があるとして、当委員会では、市民、関係団体、高校生との意見交換や、先進地視察等の調査・研究を行い、提言書にまとめました。

提言書の内容をお知らせする機会がなかったため、今回、臨時号の紙面

を利用していただきました。

3月議会では、第5次基本構想案が提出されます。当委員会は、提言書の内容を具現化するため、市民協働のまちづくりの一端を担ってまいります。

- 1、子育て応援施策の充実について
 - ◆ 優遇策、遊び場、病児・病後児保育
- 2、健康づくり施策の確立について
 - ◆ 健康寿命(未病化)施策、医商連携のまち
- 3、若者の定住施策について
 - ◆ 高校、専門学校との連携、新規出店優遇策
- 4、商店街の環境整備について
 - ◆ 多目的トイレの設置、バリアフリー化の充実
- 5、商店の魅力アップについて
 - ◆ 老朽化店舗への支援策
- 6、情報発信の充実について
 - ◆ 拠点づくり、集いの場づくり
- 7、新産業の創設について
 - ◆ 6次産業との融合、小諸らしい特産品創造
- 8、交流人口増について
 - ◆ 懐古園と中心市街地を繋げる動線づくり
 - ◆ 歴史・文化遺産の魅力発掘・維持活用、観光客に対応した移動手段
- 9、公共交通の充実について
 - ◆ 地域を繋ぐ柱としてのネットワーク化
- 10、まちづくり協議会(仮称)の設置について
 - ◆ 市民をはじめとする様々な主体からなる協議会の設置

